

代替ガスソリューション 開発ロードマップ

地球温暖化に影響を与える温室効果ガスの削減について世界的に議論される中、開閉装置における電流遮断や絶縁に約半世紀にわたって使用されている SF6ガスは、温室効果がCO₂の23,500倍[※]とされています。開閉装置におけるガス漏れはほとんど無いものの、地球温暖化に影響があることには変わりなく、開閉装置の脱炭素化に向けた需要は高まっており、Fガスの使用規制や削減活動が世界各国で検討、実行されています。三菱電機では、SF6ガスの代替ガスとしてドライエアを用いた開閉装置の開発に注力してきました。当社は今後も環境負荷の少ない開閉器開発に全力で取り組みお客様のサポートを継続して参ります。

※6 出典：“Climate change
2013: The physical science basis”

ecological-Dry-air Insulated Switchgear (e-DIS)

代替ガス開閉器

ドライエア絶縁及び真空バルブ遮断によるソリューションを提供。

2022

72.5kV

2023

145kV

2024

72.5kV

2025

245kV/
170kV

2026

145kV

2027

245kV/
170kV

2028

362kV

2029

550kV

362kV

550kV/
420kV

2030

Dead Tank Vacuum Circuit Breaker (DT VCB)